

土質調査箇所図

<新庁舎敷地>

【別添資料2】土質柱状図

調 査 名 盛岡中央消防署庁舎建設工事に係る地質調査業務委託

ボーリングNo.				N	0	1

事業·工事名

					事業			I																シートN					
ボーリ	ン	グ名]	No. 1			調査位置					盛岡	司市县	盛岡 ⊤	駅前	价西通一丁目 ─────	127番2	26外				北緯	39	° 42	2' 3.	56″	
発 注	機	と 関	盛岡						部総務課盛岡中央消	i防署庁舎	建設	準備	室	調査其				平成24年			年8月3	81日		東経	141	1° 7	43.	71"	
調査	業者	省名			ボーリ 電 T				'-3121) 土仕坟師	及人	-	志	_	現 代理	人		护	居 康行		定者	及	川 一志		ボーリン グ責任者			景 康行		
孔口	標	高	+12	6.88m	角	上		90°	方 270 90°	地	平 0°	仮	ñ 📙	試 錐	機		KOŁ	KEN KT-100	(0) :	50~15	Om	ハンマ 落下用		半	自動落	下装	置		
総掘	進	長	45	. 15m	度	下 0°			西 東 180° 南	勾 90°	ノ <u></u>	杉	幾	エンシ	ジン			YANMAR NFI)9 (D) :6	6.6kW		ポン	プ	KOKEN KP-	-2C (PST	: (?	401/	min	
標標標	票	層	深	柱	土	色	相	相	記			孔内水位					標	準 貫 入	、試	験			原	位置試影		大料拐 —	長取	室内試	掘
					質		対	対				水 位 m	\m*	10cm年 打撃回		打擊回			N	値			深	試 験 および結 身		試	採	験(進
尺 高	哥	厚	度	状									H	0 10		Mc/ .			- C) –			度	4 0 0 May		料			
					区		密	稠				測定月		5 5	5	貫入									度	番	方		月
m n	n	m	m	図	分	調	度	度	事			日	m	10 20	30	量 cm	0	10	20	30	40	50 60	m		m	号	法)	日
1				60 60 0.4 0.4 0.4 0.4					不均質	\			1 15																
1				1 600		黄褐~灰	中位		10~50mm位の亜角礫, i を主休				1. 15 1. 45	6 4	5	15 30	15. 0	9											<u>6</u> -
2				600 600 600 600 600 600	盛土・ シルト 質砂礫	~ 褐~	緩緩		最大碟径70mm位 一部大碟が密集 上部と下部は黄褐色を 粒分が多い	なし細				3 4	3		10. 0												
3							11		粒分が多い 最上部は角礫主体				2. 45 3. 15	2 3	2	30	7 0												
4	2. 98	3. 90	3. 90								-	6/19 6/18 4.≒37 ≟	3, 45	2 0	2	30	1.0												-
				$0^{\circ}0^{\circ}$						第四紀完 楽を主		4.37	4. 45	11 16	15	30	42. 0				>0								
5						暗褐	-4-		 10~50mm位の円~亜円4 体	完 礫を主 新 世			5. 15 5. 45	4 5	8	17 30	17. 0	9							- = -				
6				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	砂 礫	% ~灰褐	中位な		礫種は様々 マトリックス(礫の充填 質)は砂	(6. 15	6 7	8		21. 0		6										-
7						褐			上部7m付近まで含水は	少ない 世 最		6/14 7.30	6. 45 7. 15			30			\perp										-
8 118	8. 78	4. 20	8 10							末期沖			7. 45	7 8	10	30	25. 0												
118	8. 48 8. 18	0.30	8. 40 8. 70	 O.º.O.º.	シルト	暗灰 黄褐	H /-	軟	含水多く軟弱 細礫を混入 腐植木片	を含む層			8. 15 8. 45	1 1 20		30	2. 0												
9				% 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	砂礫	典的	サ位な		10~20mm位の亜円礫				9. 15	10 11	10	31	31. 0			P					- = -				$\frac{6}{13}$
10				0.00.00 0.000 0.000 0.000						第四			9. 45 10. 15	11 11	19	30	24.0												
11					I	黄褐			10~50mm位の亜円礫を3マトリックスは砂	新			10. 45	49 11		30													
					シルト 混じり 砂礫	黄~灰暗	12		細粒分を混入し、上部に 多い 一部シルトの薄層を挟	後			11. 23	3		13	138. 5						9						
12						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			9.5m付近まで黄褐色を 採取後酸化変色	在 対 期			12. 15 12. 45	14 14	13	41 30	41. 0												
13	0.00	4.00	10.00	0%0 %0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						,			13. 15 13. 27	32 28		60	±50. 0						•						
14	3. 28	4. 90	13.60						不均質	. 岩層			14. 15				_												
15				0000(0000(0000(シルト 質礫	暗灰	中位な		5~20mm位の亜円礫を主 コア形をなす安山岩の 含む コア長50mm位	大礫をだだ			14. 45 15. 15	5 6	6	30	17. 0	9											6 -
10				9200 2000 5000 0000	貝铢	1)/	な		軟質な凝灰岩礫を含むマトリクスは主にシルー部砂を層状に挟在	・ 横横				7 11	7	25 30	25. 0												14
16 110	0.68	2.60	16. 20	882 	シルト	淡青灰	:		半固結状のシルト	300			16. 15 16. 45	5 3	6	14 30	14. 0												
	9. 88 9. 58		17. 00 17. 30	;/;/::	シルト	灰 青灰			採取後酸化黄色化 細砂~中砂 細粒分を混入				17. 15	3 5	12		20. 0												$\frac{6}{15}$
18				0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0%	<u> </u>				<u> </u>				17. 45 18. 10			30													
19				• • • • • • • • • • • • • • • • • • •									18. 38	17 24	8	28	64. 3												
19				00000 0000 0000 0000									19. 15 19. 45	10 10	12	32 30	32. 0			9									
20				0%0% 0%0 0%0 0%0									20. 15	10 12	13		35. 0												
21					シ	nde			10~50mm位の亜円礫を コア形(円筒状)をなす	主体 大礫,			21. 15	11 11	19	30	-												-
22					ルト混	暗青灰			玉石が点在 コア長50~70mm位 クサリ礫を含む				21. 45 22. 15	11 11	13	30	рэ. u -												_
					じり砂	一暗灰			マトリックスは砂 細粒分を不規則に混入 所々砂を層状に挟在				22. 45	7 9	11	27 30													
23					礫				採取後酸化変色				23. 15	7 8	9	24 30	24. 0						1						-
24												-	24. 15	4 12	19	35	35. O			P			-						$\frac{6}{16}$
25				0,40 0,40 0,40 0,40									24. 45 25. 15			30				 \									-
26				00000 0000 0000 0000									25. 45	11 12	16	39	39. 0												
	0.38	9. 20	26. 50						中砂~粗砂 一部細砂				26. 15 26. 45	8 7	10	25 30	25. 0		8										
27				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	シルト酒 じり砂	暗灰	中位 な		5~10mm位の礫を不規則 採取後暗褐色に変色	川に混入			27. 15	2 3	5	10	10.0				1		1						-

	45 81.73	44	43	42	F 41		40	39	38	37	36		92. 48	34 93. 18	33	32	31		30	29	28
		i i i i i i i i i i i i i i i i i i i					j. Ç		j. G		jo S S S S		0.70 34.40 C		C O C O	[Ċ o o	Ç Ç Lo	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	i c	, C , O , O	0,0
	.^^^/ .^^./ 					※ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	記 2000 混 1000	9.50 0.00 ト					=== 0.0.9.0 0.9.60 0.8.00	シャー・シル	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		0.000 0.00	たい			\$0.00; \$0.00;
	岩灰					100	次~暗 灰	青灰						ト暗複			暗灰	青灰~蚊	+		
						な	な〜密な	中位な						ģ				密な			
WE \	最上 固結 礫状					最大	42ml	37.5 状に	10~ 最大				い有機	非常半固 に硬細砂			30m1 挟在 採取	マト 細粒 一部	10~		
7 1 1 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-部はやや軟質 ちままで無水堀困難 大〜岩片状コア 指先で割れる	477.) L. O. O. Haliff			『は細粒分が多い	E角礫を主体 以深は大礫,玉石が多い スコア長70mm位	7m付近シルトを層状に挟在 以深は10~50mm位の亜円礫	5m付近,39m付近,砂を層 二挟在	~30mm位の亜円礫を主体 、礫径50mm位 トリ礫を混在				後物が点在	副結状のシルト ♪を混入 後物が点在			t 文後酸化変色	・リクスは砂 な分を不規則に混入 『砂の薄層を挟在 付近など所々シルトを層に	~30mm位の亜円礫を主体		
															物	1川堆積物	雫石	北上川	四紀更新世中期古北	新世	紀
	44. 45 45. 00 45. 15	44. 15	43. 10 40	42. 15	41. 15 7 41. 45	40. 15 40. 45	39. 45	38. 45	38. 15	37. 15 9	36. 15 5 36. 45	35. 45	34. 45 35. 15	33. 45 34. 15	33. 15	32. 15 21 32. 45	31. 15 20 31. 42	30. 45	29. 25 30. 15	29.05	28. 15 14 28. 45
		8 10 14	$\begin{vmatrix} 2 \\ 20 \end{vmatrix}$	29 12	8 11	14 13	6 11		14 10	9 8	14 21	17 15	7 10		5 6	22 12	22 <u>18</u> 7	6 6		39	14 16
10	30 60 ₁₂ 15	18	60 10	60 8	26 2 30	39 3	30	30	30		40 4 30	43 4 30	30	30	21 2	55 5 30	60 6 27	30	20	60 9	44 4
				.8	i. 0	o. o	0. 0			i. 0	. 0	s. o	3. 0		. 0	i. o	5. 7	. 0		ı. 0	. 0
													0		9			0<			
		0			Ø																
						(2)															Q
	-		— ×	*																	
=======================================	6 21	athuntu		udum	4	6 = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		4	1	4	Juni	19	6	1		4		18	6		7

調 査 名 盛岡中央消防署庁舎建設工事に係る地質調査業務委託

ボーリングNo.				N	О	2

事業・工事名

					事業	; · L.	尹化	1																	シ	- FNo.					
ボー	ーリン	/グ名				No. 2			調査位置					盛	岡市!	盛岡	駅前西	5通-	-丁目	127番	26外	•			北	緯	39°	42	2.7	73″	
発	注札	幾関	盛岡						部総務課盛岡中央消防	署庁舎	全建設	设準 位	備室	調査				平原	戈24年			-24年8月	31日		東		141	° 7'	45.	04"	
調	査業	者名			ボーリ 電				27-3121) 主任技師 18-10°	及	JII —	-志		現 代理			折居	康和			定者		及川 一志		ボー グ責		-	折居	康行	<u>΄</u>	
	孔口標	票高	+12	26.67m	角	上		90°	方 270° 90° 地 盤 勾 向 配 配 配		(平 0°	,	Ĥ ⊢	試 錐	É機		KOKEN	N KT-	-100	(0) :	50~	~150m	ハンマ 落下用			半自重	为落下	「装置	量		
糸	総掘進	進長	34	. 25m	度	下 0°	<u> </u>		向 180° 南 配	90°	/ —	į	機 種	エン	ジン		Y	ANMA	R NFD	9 (D) :	6. 6k	W	ポン	プ	KOKE	CN KP-2C	(PST)) :	401/ı	nin	
標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記			孔内					標	準	1 入	. 試	験			原	位置	試 験	試	料採	取	 室 内	掘
					質		対	対				孔内水位	深	10cm		111				N		直		深		験 名	১/লা	4.5		試験	進
尺	高	厚	度	状								m /		打撃[- 旧				- () -	_			わよ	び結果		試料	取		
					区		密	稠				測定月日	度	5 5	5	貫入								度			度	番	方		月
m	m	m	m	図	分	調	度	度	事	N.		日	m	10 20	30	量 cm	0	10		20	30	40	50 60	m			m	号	法	<u> </u>	且
1				0.000 000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.						\			1 15																		
1						黄褐~	中		10~50mm位の亜円礫, 亜角とコア形をなす玉石を主体最大コア長140mmで非常に	礫	2		1. 15 1. 45	7 11	1 10	28 30	28. 0				0										-
2				0.000 g	盛土・ シルト 質砂礫	暗褐	中位な		最大コア長140mmで非常に マトリックスはシルトや配 不均質	を主			2. 15 2. 45	5 4	3	12	12. 0	,													-
3				\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\									3. 15	17 6	5		28 0				Q						.				-
4	122. 9 122. 7	7 3.70 7 0.20	3. 70 3. 90	0.3.0.3.0 0.3.0.3.0	シルト	黒灰黄褐	;		上部は黒色下部は黄褐色で砂を混入	A			3. 45 4. 15			30															6
5										第四紀完		6/9	4.45	13 13	3 13	39	39. 0														<u>6</u> -
J									10~50mm位の円~亜円礫と ア形(円筒状)をなす大礫,			5. 40 = 6/8	5. 15 5. 45	5 3	4	12 30	12. 0														
6				0.0.0 0.0.0 0.0.0	砂	灰褐(中位な		石を主体	寅	-	b. 28 ≚) O. TO	7 6	9	22 30	22. 0			0							.				-
7					砂礫	黄褐	〜密な		最大コケ長90mm マトリックス(礫の充填物 質)は砂 一部砂分が多い	基世最末			7. 15		1 14		39. 0					90									-
8				0.00 0.00 0.00 0.00			,6		上部7.5m付近まで含水は少い	沖	1	=	7. 45 8. 15			30															6 -
0	117.6	7 5.10	9.00	0.000 0.000 0.000 0.000						積 層 /			8. 45	8 7	7	30	22. 0														6
9										\			9. 15 9. 45	7 7	8	22 30	22. 0			9											-
10					シル				10~30mm位の亜円礫を主体	第四紀	, -		10. 15 10. 45	7 9	10	26 30	26. 0			\											-
11					ト混じ	黄褐~	中位な		最大礫径50mm位 マトリックスは砂 細粒分を不規則に混入 10.8mまで黄褐色をなし以	記更新世			11. 15	10 8	7		25.0														-
12				0.000	砂砂	青灰	な		10.8mまで黄褐色をなし以 青灰色をなす 採取後酸化変色	期			11. 45 12. 15			30															-
13					礫					洪積層	i		12. 45	9 13	3 18	30	40. 0					8									6
13	113. 1	7 4.50	13. 50							/ 岩	+		13. 15 13. 25	60		10	80. 0							•							7
14	112.0	7 1.10	14.60		砂礫	黒灰	密な		50mm以下の安山岩礫,火山 と粗砂状の粗粒火山灰を主	:体 な だ			14. 15 14. 45	13 12	2 19	44 30	44. 0					Œ									-
15				0000 0000 0000 0000	シルト 質礫	褐灰暗灰	中位	Z	10~20mm位の亜円礫を主体 安山岩類の転石を含む コア長50mm前後に割れる	れ堆積			15. 15 15. 30	8 52	2	60	20. 0	+						•			.				_
16	110.8	7 1.20	15. 80						マトリックスはシルト	参	j		16. 15			15															-
17				0.000 0.000 0.000 0.000									16. 45	9 11	1 10	30	30. 0														
11				0.0% 0.0% 0.000 0.000									17. 15 17. 45	12 8	4	24 30	24. 0			9											
18				0.00.00 0.00.00 0.00.00 0.00.00									18. 15 18. 45	11 7	9	27 30	27. 0														-
19				0%0.0 60.0 60.0 60.0 60.0									19. 15	12 9	6		27. 0			d	N.										-
20				 0.40 0.40 0.40 0.40 0.40	シル	暗	中		10~50mm位の亜円礫を主体コア形をなす大礫を含む	5			19. 45 20. 15	15 10		30															6 -
21					ト混じ	暗青灰(中位なく		礫種は様々 若干クサリ礫を混在 マトリックスは砂				20. 45	15 18	3 13	30	46. 0					,	9								8
					砂砂	青灰	密な		細粒分を不規則に混入 一部砂の薄層を挟在 20m以深,所々に青灰色を	なす			21. 45	10 17	7 19	46 30	46. 0						b								-
22				0.000	礫				シルトの薄層を挟在	第			22. 15 22. 45	5 6	8	19 30	19. 0		(
23													23. 15	13 7	4	24	24. 0			b											-
24										四紀更新世中期古北上川			23. 45 24. 15			30															
25										出期古			24. 45	9 7	8	30	24. 0									. 					
	100.0			0.000 0.000 0.000 0.000						上川			25. 15 25. 45	3 2	6	11 30	11.0	G													
26	100.6	10. 20	26. 00		礫混じ り砂	暗灰	中位	Ž.	中砂〜粗砂を主体 5〜10mm位の亜円礫,火山 不規則に混入 採取後変色	・ 雫 楽を石			26. 15 26. 45	4 5	6	15 30	15. 0		P												
27	99. 6	7 1.00	27. 00	0.0.0.% 0.0.0.% 0.0.0.0.0 0.0.0.0 0.0.00	ソガジ		1,2		不規則に混入 採取後変色	· 川 一堆 積	i i		27. 15		1 11	31	31. 0	-			\a										6 9
										物	J		27. 45			30															

28	(O.A.			28.	13	13		45.	o	8		
29			密 な 10~30mm位の亜円礫を主体	29.	15	16			0		2	
30	IOA 09 ル e	暗青灰		30.		21	22 6	30 30 66.	7			
31		炭	10〜30mm位の亜円礫を主体 コア形をなす大礫が点在 コア長50mm位 常 マトリックスは砂 細粒分を不規則に混入 密 採取後酸化変色	30. 31.	15		7 2	27				
32			7\$	31.	15	20		58 58. 30	O			
				32.	32	19	7 (60 66. 27	7		 ≉	
33	93. 17 6. 50 33. 50 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	1 11-4-40	****、**・ 半固結状のシルト	33.	23			60 66. 27	7		>	
34	92. 87 0. 30 33. 80==== 92. 42 0. 45 34. 25 ☆ ジンル 混じ 花砂道	トりに	有機物が点仕「前條此人	34.	19			60 72. 25	O			 6 11 =

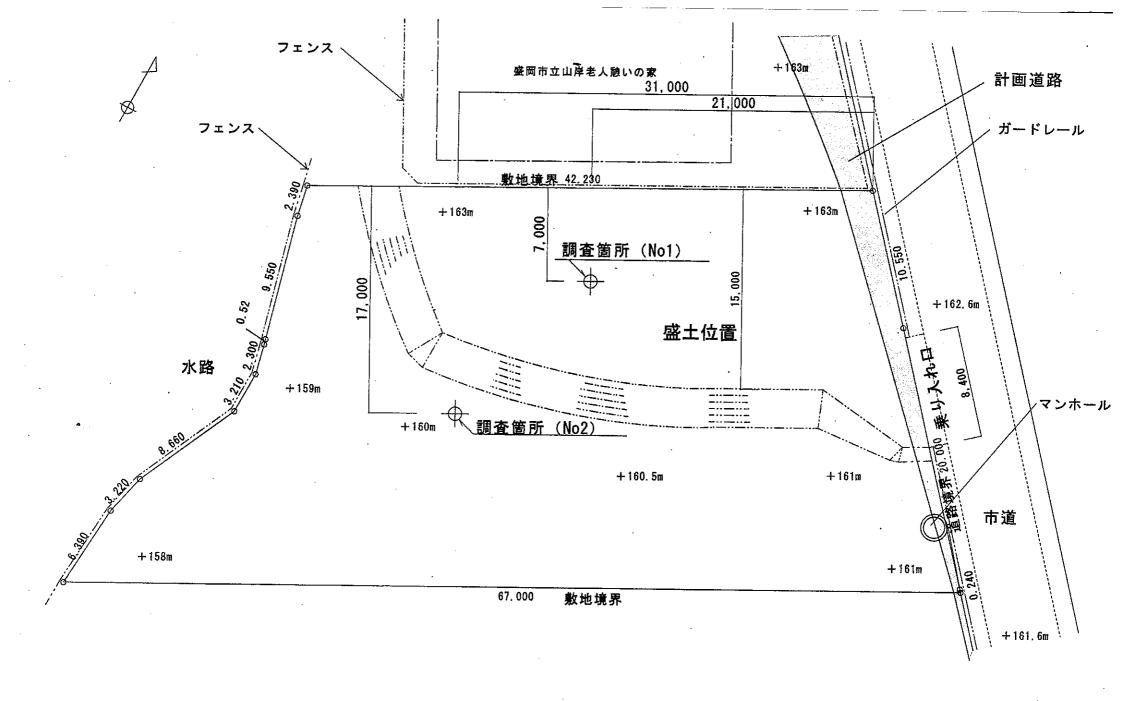
調 査 名 盛岡中央消防署庁舎建設工事に係る地質調査業務委託

ボーリングNo.				N	О	3

事業·工事名

ボー	ーリン	グ名				No.	3			調査位	置					盛	岡市	盛岡			一丁	目1	27番2	26外					4	となった。		39°	42	1.96	3″
発	注榜	幾 関	盛							務課盛岡中央	・消防署	产舍	建設	と 準備	#室		期間			<u> 1</u>	Z成24	4年5	月28	日~2	24年8	月31	日			東 経		141°	7'	46. 0	9″
調	查業	者名		旭	ボーリ	電話	(0)		社 37-312	21) 主任技	師	及丿	-	志			場 理人		护	·居 厚	表行			ア 定者			一志			ーリン 責任者		ŧ	斤居	康行	
7	上口標	高	+1	26. 60n	角	18 上		_90°	方	270° 90	地般		平 0°	ſ	使 用 -	試	推機	35	KOŁ	KEN K	T-10	0 (0)) :	50~	150m		ハンマ 客下用				半自動	落下	装置	1	
糸	8掘進	長	4	5.16m	度	T 0		<i>)</i>	卣	西 180° 南	地盤勾配	鉛 直 90°	<u> </u>	h	-CIC	エン	゚゙ジン	,		YAN	MAR N	IFD9	(D) :	6.6kW	ı	7	ポン	プ	K	OKEN :	KP-2C ((PST)	: .	401/m	in
標	標	層	深	柱	土			1 相		 記				A I.					 標	進		<u> </u>	武	 験				原		置試	 : 験	試	料採	取	室相
					EE.				r.					孔内水台		10cr	毎の	打				N	V	値					請	大 験	名				試
尺	高	厚	度	状	質		×	付 交	Г					水 位 m	深		回数	撃回				-	- C) –				深	*	うよび紅	吉果	深		採	進
					区		徑	密 郡	1					測定	度		.0 20	数/貫入										度				度	料番	取方	月
m	m	m	m	図	分	訓	哥 F	更 度 度	ŧ.	事				測定月日	m	′	50 30		:		10	20		30	40	5() 60	m				m	号	注	
<u>m</u>	111	111				Π,	HJ //3	z 1/3		7		\						CIII				20			10	3(, 00	,							
- 1						り 複	えんし	爰	10~	50mm位の亜円硝	※を主体				1. 15	2	2 3		7. 0	9								_							
- 2					盛土・ シルト 質砂砂	· 祥 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ગ (~ 中 立 注	最大で	礫径70mm位 な礫が多い リックスは砂や は少ない	P粘性土	盛土			1. 45 2. 15		4 3	30	12. 0																-
- 3						祥	5 7	2	含水	は少ない					2. 45 3. 15			30)									-							-
- 4	122. 80	3.80	3.8											6/29 4./40	3. 45		8 10	30					Ø												
4				00.00 00.00 00.00 00.00								(4.40 4.80	4. 45	8	18 16	30							> o										
- 5												第四紀完新			5. 15 5. 45	6	7 7	20	20.0			Ø.													-
- 6						D D	3		休	40mm位の円~車					6. 15	11	2 12	35	35. 0																$\frac{6}{25}$
- 7					砂礫	り べん かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	号 位かった	中立ない。	取上マ 質)に	礫径50mm位 は大礫が多い リックス(礫の)	充填物,	更新		6/27 7.00 ≚	6. 45 7. 15	7	7 6	30						1				-							-
- 8						褚	3		所々	が 砂分が多い 近まで含水は少		世最末期沖積層			7. 45 8. 15		1 6	30	20.0																-
				00.00 00.00 00.00								期沖積1			8. 45	4	3 4	11 30			8														
. 9				0.000	. d							/ / /			9. 15 9. 45	4	4 5	13 30																	-
10	116. 60		10. 0 10. 4	008 008	砂砂	黄	褐し	緩い	粗砂細礫	を主体 を含む		第四			10. 15	1	1 4	6 30	6. 0	4	1							_							
11									マト	30mm位の亜円硝 リックスは砂		紀更新			11. 15		10 16						_		2			_							-
12					シルト混じり	黄	喝~ 名灰 た	ž L	細粒 11.5	ッシュスはい :分を不規則に涯 :まで黄褐色をな :色をなす。	見入 こし以深 <i>に</i>	世後期			11. 45 12. 15			30										-	-						-
- 13	113.60	2.60	13. 0	00.00 00.00 00.00 00.00 00.00	. d . d . d				採取	後酸化変色		洪積層			12. 45 13. 15		25	30									<u> </u>								6 -
	112.80		13. 8	0.202 0.002 0.	シルト質砂砂			密な	下部	質 円礫を含む は細粒分が多い)	\ 			13. 45	11	24	30	47.0																$\frac{6}{26}$
- 14	112. 40	0.40	14. 2	0.2.0.2	シルト	、褐~	灰灰		粘性	は弱くやや硬レ	`	_\			14. 15 14. 45	5	12 12	29					(_							-
- 15				0.000 0.000 0.000 0.000	.9										15. 15	12	12 12)			_							_
- 16															15. 45 16. 15		9 8	30					<u> </u>					_							-
- 17				0000											16. 45 17. 15		9 6	30										_							-
- 18				00000 00000 00000	·) ·) ·)										17. 45		1 19	30)									-
- 10					·										18. 15	10	17 15	30							þ										
- 19					シル	明	₹ 4	<u></u>	18m~ 、玉	50mm位の亜円額 ~20m間コア形を 石を含む	₩を主体 となす大研	樂			19. 15 19. 45	13	1 11	35						Ø	/			1	-		. – – – –				$\frac{6}{27}$
- 20					ト混じ	明青历	付け、	立:4~巻:3	最大礫種マト	:コア長80mm位 :は様々 リックスは砂					20. 15	9	7 7	23	23. 0				8						-						-
- 21					り砂礫	から	名か	in the second se	細粒 下部 層を	:分を不規則に涯 清灰色をなすら :挟在	見入 バルトの注	簙			20. 45 21. 15			30)				7					_							-
- 22					مر	לו				後に変色					21. 45		8 10	30	'				ر 												-
															22. 45	7	7 7	30				G													
- 23				 	<u>.</u> نوبونو										23. 15	12	15 16	30	43.0						e	~									
- 24																15	9 19	53	53. 0								>		-						$\frac{6}{28}$
- 25															24. 45 25. 15		8 12	30											-						-
- - 26	100.60	11.80	26.0	0[240]	1				-y- 1 L	·昕 · 添子 2 ′ ′ ′ ′	-				25. 45 26. 15		0 12	30)									_							-
=	100. 20	0.40	26. 4		・	暗	灰		/ / 均	質 浮石を混在	<u> </u>	第四紀軍			26. 45	4	4 4	12 30	12.0		S	_													
- 27				0.000	:}							紀			27.15	10	17 30	60								_		1				1			-

45	44	43	42	41	40		39	38	37	36	35	E	34	23_	32	31	30	29	28
	82. 30												93.30	93.60					
	11.00												0.30	6.60					
	44, 30												33. 30	33. 00		•	,		
	0.00											0.000 0.000 0.000 0.000	0.0% 0.0% 0.0% 0.0%						
凝灰岩					P/K	り砂礫	ト混じ	シル					シルト <u>質砂</u>	2,01		砂礫	混じりる	シルト	
灰					灰	暗	灰~青灰	暗青灰					灰			灰	灰~暗	暗青	
					密な	な~非常に密	密	位なく	中				中位な	H1 (-1-		密な	非常に密な	密な~	
固結度大礫状コア						マトリックスは砂 細粒分を不規則に混入 採取後酸化変色	10~30mm位の亜円礫を主体 コア形をなす大礫が点在 コア長50mm位 最下部は大礫が多い	10~30㎜位の亜円礫を主体					中砂を主体細粒分を混入	Harth & 2. Har Ample IV & Very		採取後酸化変色	マトリックスは砂 細粒分を不規則に混入 所々砂の薄層を挟在 採取後酸化変色	10~40mm位の亜円礫を主体 最大礫径50mm位	
															物	雫石川堆積物	[•]	世中期古北上川	世中期
44. 18 8 45. 00 30 30 45. 16 6	44.00 35 25	43. 00 43. 19 28 32 43. 19 9	42. 15 11 18 23 42. 45	41. 15 12 13 25 41. 45	40. 15 40. 45 16 16 14	39. 45	8 9 9 38. 45 39. 15	37. 45 38. 15 8 9 9	37. 15 8 7 11	36. 15 8 11 14	35. 27 20 22 18 35. 27 7	34. 15 19 35 6 34. 36 1	3 6 15	32. 45 33. 15	16 20 19 31. 45 32. 15	30. 44	30. 15	29. 15 8 11 19 29. 45	28. 15 28. 35 20 40
18 60 ₁ 16	60 1	60 6	30	5 50 3	46 30	33 3	30	30	26 2	1 33 3	8 60 6	60 8	30	30	30	29	30		60 20
	00.0	94. 7	52. 0	50. 0	16. 0	33. 0	30. U	26.0	26. 0	33. 0	66. 7	85. 7	24. 0	17. 0	55. 0		52. 1	38. 0	90. 0
						8			4	8								«	
					9														
					1														
$\frac{7}{10}$		9 =	7 = 7 = 7		1		0 =	7 = 1			5 =	7	2	7 =				<u>6</u> = <u>29</u> =	



土質調査箇所

調 査 名 (仮称)盛岡中央消防署山岸出張所庁舎建設工事に係る地質調査業務委託

ボーリングNo. No. 1

						重 ・工 ³			(収か)盆中	リヤク	大併[四者]	Ш <i>)</i> ∓	<u>- Ш</u>	マアリノ	1 吉	建议	(上)	≯ (⊆17	ド る丸	巴貝亦	可宜.	来伤	安訂	_		4,)	7 7 100.					
ボーリ	ング	名				No. 1			調査位置	Ē					盛	岡市	7山岸	十六丁	目269)番2夕	\						ンートNo 北 緯			3' 40). 7"	
発 注	機	関	盛岡	地区点	5域消	方組合	消修	方本部総務	課盛岡中央海	 肖防旱	署庁舎建設	と 準備	#室	調査	期間			Ψ	成24	年7月	5日	~24	年8月	23 E			東 経	14	1°	10' 1	8.5"	
調査	業者名	ž H		旭	ボーリ 電			会社 7-67-3121〕	主任技師	ĵ	及川 一	·志		現代理			高	僑 幸	治	- 1	立			及川	π	芸	ボーリン グ責任者		高村	喬 幸冷	台	
孔口	標高	İ	+16	2. 24m	角	180° 上	9	方 2	北 0° 70° 90°	地般	水平 0°	1	吏田	試金	隹 機		KOKI	EN KI	-100	(0)	: 50)~15	50m	- 1	ンマ	- 1	半自	動落	下装	置		
総振	進長	•	15	.06m	度	下 0°	J	6	180°南	地盤勾配	90°	/ 1 6	吏 用 幾種	エン	ジン			YANM	AR NF	D9 (D)	:6.	6kW		才	ŧν	プ	KOKEN KP-	2C (PSI	Γ) :	401/	min	
標 樏	票 盾		深	柱	土	色	相	相	記			孔.					 標	準	 貫 <i>フ</i>			į				原	〔位置試験	市	—— 式料	 採取	室	掘
					質		対	対				孔内水位m	\m_+		毎の 回数	11				N –	0	値				深	試 験 名および結果		· 章	大 採	室内試験(進
尺		孠	度	状	区		密	稠				/ 測定月			0 20	数/貫					O					度		度				月
m n	n r	n	m	図	分	調	度	度	事			月日	m	10 2	0 30	量 cm	0	1	0	20	30		40	50	6	0 m		m	. 号	法法	<u></u>	日
1 2 160	0. 04	2. 20	2. 20		盛土・顔 混じりシ ルト	暗褐		不均質 軟ら含水は かい10~30r 則に混	m位の円〜角顔 入	樂を不	盛 土 /		1. 15 1. 45 2. 15		1 0	2 30	2. 0 C)														

軟ら植物根を混在 軟ら植物根を混在 かい下部は細礫を混入 非常不均質 に軟含水が多く軟弱 い 若干植物根を含む 細砂〜粗砂と不均質 含水が 多くルーズ 礫を不規則に混入 最大礫径4 のmm位 浮石を混在 シルトの薄層を挟在 L表土 第四紀完新世 7/19 2.45 3.00 3.15黒褐 $\frac{7}{19}$ シルト 159.44 0.60 礫混じり暗褐 シルト 黄褐 1 35 3. 50 35 非常に緩 礫混じ 4. 15 黄褐 りシルト質砂 4. 43 28 28 157.34 5. 15 第四紀更新世岩屑なだ 10 30 5. 45 非常に不均質 砂や10〜20mm位の亜角礫を不 規則に混入 一部砂を層状に挟在 礫混じ青灰~ り砂質暗青灰 シルト~暗灰 6 6. 15 中位 6. 45 7. 15 6 20 29 154.64 7. 45 不均質 砂や礫を不規則に混入 硬質なチャートや頁岩の玉石 を混入 最大90mm位 30 玉石混じ り砂質シ ルト 8 8. 15 暗灰 雄積物 中 位 153.34 一部は砂礫状 9. 15 10~20mm位の亜角礫 軟質な砂岩塊を挟在 シルト 9 10 31 青灰 質礫 9. 45 152.34 10.15 13 24 23 60 10~50mm位の亜円礫~亜角礫 10.43 28 11.05 60 60 11 10 12.00 60 非常に密な 黄褐~黄灰 12 10 コノ 長50mm 川 塚に 前はいる 風化礫を混在 マトリックス (礫の充填物,基質) は粘性土や砂 12m以深は所々膠結し円形コア 風化礫岩の様相 まきで 変まで無水 堀 田 難 シル質礫 13. 10 13. 26 33 27 6 13 60 112 16 無化候者の像相 非常に密実で無水堀困難 ダイヤビットにより送水堀 14.05 40 20 14 60 ₁20. 14.20 15. 00 60 15. 06 6 60 300. 0 15 147.18 5. 16

調 査 名 (仮称)盛岡中央消防署山岸出張所庁舎建設工事に係る地質調査業務委託

ボーリングNo. No. 2

					事業	· 工	事名	1									_		シートNo.				
ボー	ーリン	グ名				No. 2			調査位制	置			盛	岡市	山岸六丁目269章	番2外			北緯	39°	43	' 40. 3"	,
発	注核	と 関	盛岡	地区应	域消	坊組合	合消隆	方本部	総務課盛岡中央	消防署	署 庁舎建設準	準備室	調査期間		平成24年	三7月5日~24年	8月23日		東 経	141	° 10)' 18. 4	"
調	查業	者名		旭和	ドーリ 電			会社 7-67-3	3121) 主任技師	币	及川 一志	<u>.</u>	現場 代理人		高橋 幸治	コア	及川 一志	<u> </u>	ボーリン グ責任者	i	高橋	幸治	
Ā	孔口標	高	+159	9. 30m	角	180° 上	\	方 方	270° 90°	地	水平 0°	使用	試 錐 機]	KOKEN KT-100	(0) : 50~150	m		半自動	助落丁	装置		
养	総掘進	長	14.	. 13m	度	下 0°	J	帕	西東	盤勾配	<u>a</u>	機種	エンジン		YANMAR NFD	9(D):6.6kW	ポン		KOKEN KP-20	(PST) :	401/mir	1
標	標	層	深	柱	<u>±</u>	色	相	相	記			1.		;	標準貫入	試 験		原	位置試験	活	料採	取室内	掘
			-4-	116	質		対	対			ス 位	水 立 流 深	10cm毎の 打撃回数	打擊回		N 値 - 〇 -		深	試験名	深	試	試験(Æ
尺	高	厚	度	状	区		密	稠			 / []	/ 度]数/貫入				度		度	料番	取方	月月

	I		深	柱	土	色	相	相	記	孔内	:				楞	準 貫 入 試	岁 天			原	位置試験	試	料採	以	室内	排
					FF		لملحا	لمد		水)cm毎0)	r	N	値				試 験 名				試験	
,	<u>+</u>	E	r ds	412	質		対	対		位 m		打	撃回数		<u>.</u>	_	0 –			深	および結果	深	試	採		j
1	高	厚	度	状	区		密	稠		/	_ 度	0	10 2	0 数	<u> </u>					度		度	料	取		 F
							100	170		定月		5	5 9	貫入									番	方		
1	m	m	m	図	分	調	度	度	事	自	m	10	20 3	0 <u>G</u>	t n	0 10 20	30	40 5	50 60	m)		m	号	法)	L
	158. 60	0. 70	0. 7	0 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	有機質 シルト	黒褐		11 12	植物根を混入下部は細礫を混在	7/2 0.8 =	24 30															
1					礫混じり シルト	黄褐	5	非常に軟	植物根を混入 下部は細礫を混在 生 含水が多く軟弱 砂や10mm前後の礫を混入 上部に植物根を含む 元均質 含水が多くルーズ 海石を混入 世		1. 1	7 1		1		φ						.				
2	157. 70	0. 90	1. 6	0 <u>≅ </u>	・ 礫混じ りシル	黄褐~	非常に経		工品に 記載 不均質 完 含水が多くルーズ 新		1. 4 2. 1	3 28 5		2	8							.				
-	156. 70	1.00	2. 6		ト質砂	暗灰	ν (γ)	_				1 5 20	1	3												
3									第四 四 紀 東常に不均質 新		3. 1	4	5 5									.				
4											3. 4 4. 1			3	0							.				
					礫混じ り砂質	暗青原	烎	中	砂や10~20mm位の礫を不規則 世 に混入 4m付近は砂礫状 屑		4. 4	.5 .5	1 2	3												
5					シルト	~暗点	K.	124	4m付近は砂礫状 軟質な凝灰岩礫が点在 有機物が点在 だ れ 堆積 物		5. 1	$\frac{1}{2}$	1		4. (6						.				
6									れ 堆 毒		5. 4 6. 1			3	0											
-	152. 70	4.00	6.6								6. 4	5	2 2	3												
7				0000 0000 0000	シルト	昔	中		10~20mm位の亜円礫~亜角礫 トラータ を主体 クサリ際を混在		7. 1	5	7 9	9 2												
8					質礫	黄褐	中位な		クサリ礫を混在 細粒分が多い 下部ほど密実		7. 4 8. 1			3												
-	150. 70	2.00	8.6	######################################					下位層の風化残積土の様相		8. 4		9 1	3	0		0									1
9											9. 0	100	10 2	1	$\frac{0}{2}$ 50.	0				•		-				24
10									10~50mm位の亜円礫~亜角礫 時		10. 1	5 07	33	G	0											
						士	#		とコア形をなす大礫・玉石 代		10. 3	53	8	13					— ×	9						
11					玉石混しり シルト	黄褐〜	非常に密な		最大コア長70mm位 マトリックス(礫の充埴物、基		11. 0	00 34 .4	26	1	0 ₁ 28.	6						.				
12					質礫	黄灰	密な		質) は砂や粘性土 固結度は弱い い 非常に密実で無水堀困難		12.0	38	22	6	0 128.	6			——————————————————————————————————————	9		.				
									邦市に召美で無が堀凶舞 ダイヤビットで送水堀 風化礫岩の様相 ■		12. 1		4	1	4											
13											13. 0	00 60		3	0 00.	b			×							
14	145. 17	5. 53	14. 1	0000 3000 3000					/		14. 0	00 42	18	6	0 138.	5			===	•						$\frac{7}{2!}$
											14. 1	.3	3	1	3											
15																				1		.				